

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成25年2月28日(2013.2.28)

【公表番号】特表2011-509676(P2011-509676A)

【公表日】平成23年3月31日(2011.3.31)

【年通号数】公開・登録公報2011-013

【出願番号】特願2010-543306(P2010-543306)

【国際特許分類】

C 1 2 N	5/0783	(2010.01)
C 1 2 Q	1/68	(2006.01)
G 0 1 N	33/564	(2006.01)
G 0 1 N	33/53	(2006.01)
G 0 1 N	33/543	(2006.01)
G 0 1 N	37/00	(2006.01)
A 6 1 P	11/06	(2006.01)
A 6 1 P	1/04	(2006.01)
A 6 1 P	17/06	(2006.01)
A 6 1 P	21/04	(2006.01)
A 6 1 P	37/06	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/08	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 P	3/10	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	5/00	2 0 2 L
C 1 2 Q	1/68	A
G 0 1 N	33/564	Z
G 0 1 N	33/53	K
G 0 1 N	33/53	D
G 0 1 N	33/543	5 0 1 A
G 0 1 N	37/00	1 0 2
A 6 1 P	11/06	
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	17/06	
A 6 1 P	21/04	
A 6 1 P	37/06	
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 P	37/08	
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	3/10	

【手続補正書】

【提出日】平成24年1月16日(2012.1.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】**【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

ヒトナイーブ C D 4⁺ T 細胞の集団からヒト T h 1 7 細胞の分化を増大させるための組成物であって、該組成物は、T G F - および I L - 2 1 を、T h 1 7 細胞分化を増大させるために十分な量において含む、組成物。

【請求項 2】

ヒトナイーブ C D 4⁺ T 細胞からの I L - 1 7 の発現のレベルを調節するための組成物であって、該組成物は、T G F - および I L - 2 1 を、I L - 1 7 発現を増大させるために十分な量において含む、組成物。

【請求項 3】

T h 1 7 細胞活性および／もしくは T h 1 7 細胞数を増大させるための組成物であって、該組成物は、T G F - アゴニストおよび I L - 2 1 アゴニストを、細胞もしくは細胞集団の、T h 1 7 細胞への分化を増大させるために十分な量において含む、組成物。

【請求項 4】

T h 1 7 分化が所望される細胞もしくは細胞集団が、該細胞もしくは細胞集団が前記組成物と接触させられる前に同定されている、請求項 3 に記載の組成物。

【請求項 5】

前記細胞もしくは細胞集団は、T 細胞もしくは T 細胞集団である、請求項 4 に記載の組成物。

【請求項 6】

T h 1 7 細胞もしくは T h 1 7 細胞集団への、前駆 T 細胞もしくは前駆 T 細胞集団の分化を阻害するための組成物であって、該組成物は、T G F - のアンタゴニストおよび I L - 2 1 のアンタゴニストを、もしくは T G F - R および I L - 2 1 R を、T h 1 7 細胞分化を阻害するために十分な量において含む、組成物。

【請求項 7】

T 細胞もしくは T h 1 7 細胞、またはこれらの細胞集団における I L - 1 7 の活性、発現、分泌もしくはプロセシングのうちの 1 つ以上を調節するための組成物であって、ここで、I L - 1 7 の活性もしくはレベルの調節が所望される細胞が同定されており、該組成物は、該細胞もしくは細胞集団における I L - 1 7 の活性もしくはレベルを調節するのに十分な量の T G F - / I L - 2 1 モジュレーターを含む、組成物。

【請求項 8】

前記調節は、I L - 1 7 の活性、発現、分泌もしくはプロセシングにおける増大を含み、前記モジュレーターは、T G F - のアゴニストおよび I L - 2 1 のアゴニストを含む、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 9】

前記調節は、I L - 1 7 の活性、発現、分泌もしくはプロセシングにおける減少を含み、前記モジュレーターは、T G F - のアンタゴニストおよび I L - 2 1 のアンタゴニストを含む、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 10】

T h 1 7 細胞もしくは T h 1 7 細胞集団の活性を調節するための組成物であって、該組成物は、T h 1 7 細胞もしくは T h 1 7 細胞集団の活性を調節するのに十分な量の T h 1 7 活性モジュレーターを含む、組成物。

【請求項 11】

前記モジュレーターは、ポドプラニンアンタゴニストもしくは B L T 1 アンタゴニストを含む、請求項 10 に記載の組成物。

【請求項 12】

生物学的サンプル中の T h 1 7 細胞の存在を検出するための診断試験キットであって、該キットは、ポドプラニンを検出するための手段および／もしくは B L T 1 を検出するための手段を含み、ここで該ポドプラニンおよび B L T 1 の検出は、該生物学的サンプル中の

T_h17細胞の存在を示す、診断試験キット。

【請求項13】

T_h17関連自己免疫疾患を診断するための診断試験キットであって、該診断キットは、ポドプラニンのためのプローブおよび／もしくはB_LT₁のためのプローブを含み、ここで該ポドプラニンおよび／もしくはB_LT₁の存在は、T_h17細胞の存在を同定する、診断試験キット。

【請求項14】

前記プローブは、固体基材に結合されている、請求項12または13に記載のキット。

【請求項15】

前記固体基材は、イムノプロットを行うための膜である、請求項14に記載の診断試験キット。

【請求項16】

T_h17関連自己免疫疾患を診断するための診断試験キットであって、該診断試験キットは、生物学的サンプルと、ポドプラニンに結合する抗体とを、該抗体と該生物学的サンプル中に存在するポドプラニン保有T_h17細胞との間で抗体・抗原複合体の形成を可能にする条件下で接触させるための手段、および該抗体を含む抗体・ポドプラニン複合体を検出するための手段を含み、ここで該抗体・ポドプラニン複合体の形成は、被験体のT_h17関連自己免疫疾患を示す、診断試験キット。

【請求項17】

T_h17関連自己免疫疾患を診断するための診断試験キットであって、該診断試験キットは、生物学的サンプルと、B_LT₁に結合する抗体とを、該抗体と該生物学的サンプル中に存在するB_LT₁保有T_h17細胞との間で抗体・抗原複合体の形成を可能にする条件下で接触させるための手段、および該抗体を含む抗体・B_LT₁複合体を検出するための手段を含み、ここで該抗体・B_LT₁複合体の形成は、被験体のT_h17関連自己免疫疾患を示す、診断試験キット。

【請求項18】

生物学的サンプル中のT_h17細胞を検出する方法であって、該方法は、該生物学的サンプルと、2つの異なるT_h17特異的表面分子に対して指向される少なくとも2つの異なるプローブとを、該T_h17特異的表面分子への該プローブの結合に適した条件下で接触させる工程であって、ここで各プローブは、該T_h17細胞上の別個の部位と反応性である、工程；および該プローブが、該生物学的サンプル中の該T_h17特異的表面分子に結合するか否かを、フローサイトメトリーによって検出する工程であって、ここで該プローブが該T_h17特異的表面分子に結合する場合、T_h17細胞の存在が示される、工程、を包含する、方法。

【請求項19】

前記生物学的サンプルは、血液サンプル、血清サンプル、細胞サンプル、組織サンプル、骨髄および生検物からなる群より選択される、請求項18に記載の方法。

【請求項20】

前記プローブは、アレイ上に配置されている、請求項18に記載の方法。

【請求項21】

診断試験キットであって、該キットは、少なくとも第1のプローブおよび第2のプローブ；ならびにT_h17特異的表面分子を検出するための手段を含み、ここで該プローブは、該T_h17特異的表面分子に指向され、各プローブは、T_h17細胞上の別個の部位と反応性である、診断試験キット。

【請求項22】

前記プローブのうちの少なくとも一方は、蛍光色素で標識されている、請求項21に記載の診断試験キット。

【請求項23】

前記T_h17特異的表面分子は、セファロース・ウェスタンブロッティングを介して検出される、請求項21に記載の診断試験キット。

【請求項 2 4】

T_h17 特異的表面マーカーが、ディップ - スティックアッセイを介して検出される、請求項 2 1 に記載の診断試験キット。

【請求項 2 5】

T_h17 細胞特異的表面マーカーを免疫学的に検出するための成分をさらに含む、請求項 2 1 に記載の診断試験キット。

【請求項 2 6】

フローサイトメトリー検出のための診断試験キットであって、該キットは、少なくとも第 1 のプローブおよび第 2 のプローブ、ならびに T_h17 特異的表面分子を検出するための手段を含み、ここで該プローブは、第 1 および第 2 の該 T_h17 特異的表面分子に対して指向され、ここで該 T_h17 特異的表面分子は、T_h17 細胞上で特異的にアップレギュレートされている、診断試験キット。

【請求項 2 7】

前記プローブのうちの少なくとも一方は、ビーズで標識されている、請求項 2 6 に記載の診断試験キット。

【請求項 2 8】

診断試験キットであって、該キットは、セファロース - ウエスタンブロッティング手順を行って、T_h17 特異的表面分子を免疫学的に検出するための手段を含み、該手段は、異なる T_h17 特異的表面分子に対して指向される少なくとも 1 つの異なるプローブを含み、該プローブは、T_h17 細胞上の別個の部位と反応性である、診断試験キット。

【請求項 2 9】

診断キットであって、該キットは、ディップ - スティックアッセイを行って、T_h17 特異的表面分子を免疫学的に検出するための手段を含み、該手段は、異なる T_h17 特異的表面分子に対して指向される少なくとも 2 つの異なるプローブを含み、各プローブは、T_h17 細胞上の別個の部位と反応性である、診断キット。

【請求項 3 0】

生物学的サンプル中の T_h17 細胞の存在を検出するための方法であって、該方法は、ポドプラニンもしくは BLT1 のいずれかをコードする核酸の存在を検出する工程を包含する、方法。

【請求項 3 1】

(a) ポドプラニンコード標的ポリヌクレオチドもしくは BLT1 コード標的ポリヌクレオチドまたはこれらのフラグメントのいずれかを含むと推測される生物学的サンプルから、核酸を得る工程；(b) 該 (a) の核酸と、該標的ポドプラニンコードポリヌクレオチドもしくは BLT1 コードポリヌクレオチドにおける少なくとも 1 つの核酸配列を識別し得るオリゴヌクレオチドとを接触させる工程であって、該接触させる工程は、識別的なシグナルを発生させる、工程；(c) 該 (b) において得られた識別的なシグナルから、ポドプラニンコードポリヌクレオチドもしくは BLT1 コードポリヌクレオチドまたはそれらのフラグメントの存在を推測し、従って、該生物学的サンプル中の T_h17 細胞の存在を推測する工程、を包含する、請求項 3 0 に記載の方法。

【請求項 3 2】

ポドプラニンおよび BLT1 の存在もしくはレベルを、被験体における自己免疫疾患の存在もしくは重篤度を検出するための指標とするための方法であって、該方法は、(a) 該被験体に由来するサンプルにおいてポドプラニンを検出する工程；および(b) 該被験体に由来するサンプルにおいて BLT1 を検出する工程を包含する、方法。

【請求項 3 3】

ポドプラニンおよび BLT1 の存在もしくはレベルを、被験体における抗自己免疫疾患治療の効力の指標とするための方法であって、該方法は、(a) 抗自己免疫疾患治療を施された該被験体に由来するサンプルにおいて、ポドプラニンを検出する工程；および(b) 該被験体に由来するサンプルにおいて BLT1 を検出する工程を包含する、方法。

【請求項 3 4】

T_h17細胞の存在を被験体における自己免疫疾患もしくは慢性炎症性疾患の指標とするための方法であって、該方法は、該被験体に由来するサンプルにおけるT_h17細胞の存在を検出する工程を包含し、ここで該T_h17細胞は、ポドプラニンおよびBLT1を特異的にアップレギュレートする、方法。

【請求項35】

ナイーブCD4+ T細胞の集団から、ヒトT_h17細胞の分化を増大させるための、TGF- αおよびIL-21を含む組成物。

【請求項36】

ナイーブCD4+ T細胞の集団から、ヒトT_h17細胞の分化を増大させるための、TGB- のアゴニストおよびIL-21のアゴニストを含む組成物。

【請求項37】

T_h17細胞もしくはT_h17細胞集団への、T細胞もしくはT細胞集団の分化を阻害するための、TGF- のアンタゴニストおよびIL-21のアンタゴニストを含む組成物。

【請求項38】

T細胞もしくはT細胞集団におけるIL-17の発現、活性、分泌もしくはプロセシングを増大させるための、TGF- およびIL-21もしくはこれらのアゴニストを含む組成物。

【請求項39】

T細胞もしくはT細胞集団におけるIL-17の発現、活性、分泌もしくはプロセシングを低下させるための、TGF- のアンタゴニストおよびIL-21のアンタゴニストを含む組成物。

【請求項40】

T_h17細胞活性によって影響を与えるもしくは媒介される障害の処置のための医薬の調製における、TGF- のアンタゴニストおよびIL-21のアンタゴニストの使用。

【請求項41】

T_h17細胞活性によって影響を与えるもしくは媒介される障害の処置のための、TGF- のアンタゴニストおよびIL-21のアンタゴニストを含む組成物。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

本発明はまた、T_h17細胞活性によって影響を受けるもしくは媒介される障害の処置のための医薬の調製における、TGF- のアゴニストおよびIL-21のアンタゴニストの使用に関する。

本発明の好ましい実施形態では、例えば以下が提供される：

(項目1)

ヒトナイーブCD4+ T細胞の集団からヒトT_h17細胞の分化を増大させる方法であって、該方法は、該細胞と、TGF- およびIL-21とを、T_h17細胞分化を増大させるために十分な量において接触させる工程を包含する、方法。

(項目2)

ヒトナイーブCD4+ T細胞からのIL-17の発現のレベルを調節する方法であって、該方法は、該細胞と、TGF- およびIL-21とを、IL-17発現を増大させるために十分な量において接触させる工程を包含する、方法。

(項目3)

T_h17細胞活性および/もしくはT_h17細胞数を増大させるための方法であって、該方法は、細胞もしくは細胞集団と、TGF- アゴニストおよびIL-21アゴニストとを、該細胞もしくは細胞集団の、T_h17細胞への分化を増大させ、それによって、T_h

17 細胞活性および／もしくは細胞数を増大させるために十分な量において接触させる工程を包含する、方法。

(項目4)

前記接触させる工程の前に、Th17分化が所望される細胞もしくは細胞集団を同定する工程をさらに包含する、項目3に記載の方法。

(項目5)

前記細胞もしくは細胞集団は、T細胞もしくはTh細胞集団である、項目4に記載の方法。

(項目6)

Th17細胞もしくはTh17細胞集団への、前駆T細胞もしくは前駆T細胞集団の分化を阻害する方法であって、該方法は、該T細胞もしくはT細胞集団と、TGF-のアンタゴニストおよびIL-21のアンタゴニストとを、もしくはTGF-RおよびIL-21Rとを、Th17細胞分化を阻害するために十分な量において接触させる工程を包含する、方法。

(項目7)

T細胞もしくはTh17細胞、またはこれらの細胞集団におけるIL-17の活性、発現、分泌もしくはプロセシングのうちの1つ以上を調節するための方法であって、該方法は、IL-17の活性もしくはレベルの調節が所望される細胞を同定する工程、および該細胞もしくは細胞集団と、該細胞もしくは細胞集団におけるIL-17の活性もしくはレベルを調節するのに十分な量のTGF-/IL-21モジュレーターとを接触させる工程を包含する、方法。

(項目8)

前記調節は、IL-17の活性、発現、分泌もしくはプロセシングにおける増大を含み、前記モジュレーターは、TGF-のアゴニストおよびIL-21のアゴニストを含む、項目7に記載の方法。

(項目9)

前記調節は、IL-17の活性、発現、分泌もしくはプロセシングにおける減少を含み、前記モジュレーターは、TGF-のアンタゴニストおよびIL-21のアンタゴニストを含む、項目7に記載の方法。

(項目10)

Th17細胞もしくはTh17細胞集団の活性を調節するための方法であって、該方法は、該細胞または集団と、Th17細胞もしくはTh17細胞集団の活性を調節するのに十分な量のTh17活性モジュレーターとを接触させる工程を包含する、方法。

(項目11)

前記モジュレーターは、ポドプラニンアンタゴニストもしくはBLT1アンタゴニストを含む、項目10に記載の方法。

(項目12)

生物学的サンプル中のTh17細胞の存在を検出するための診断試験キットであって、該キットは、ポドプラニンを検出するための手段および／もしくはBLT1を検出するための手段を含み、ここで該ポドプラニンおよびBLT1の検出は、該生物学的サンプル中のTh17細胞の存在を示す、診断試験キット。

(項目13)

Th17関連自己免疫疾患を診断するための診断試験キットであって、該診断キットは、ポドプラニンのためのプローブおよびBLT1のためのプローブを含み、ここで該ポドプラニンおよび／もしくはBLT1の存在は、Th17細胞の存在を同定する、診断試験キット。

(項目14)

前記プローブは、固体基材に結合されている、項目12または13に記載のキット。

(項目15)

前記固体基材は、イムノプロットを行うための膜である、項目14に記載の診断試験キット。

(項目16)

T_h17関連自己免疫疾患を診断するための診断試験キットであって、該診断試験キットは、生物学的サンプルと、ポドプラニンに結合する抗体とを、該抗体と該生物学的サンプル中に存在するポドプラニン保有T_h17細胞との間で抗体・抗原複合体の形成を可能にする条件下で接触させるための手段、および該抗体を含む抗体・ポドプラニン複合体を検出するための手段を含み、ここで該抗体・ポドプラニン複合体の形成は、被験体のT_h17関連自己免疫疾患を示す、診断試験キット。

(項目17)

T_h17関連自己免疫疾患を診断するための診断試験キットであって、該診断試験キットは、生物学的サンプルと、BLT1に結合する抗体とを、該抗体と該生物学的サンプル中に存在するBLT1保有T_h17細胞との間で抗体・抗原複合体の形成を可能にする条件下で接触させるための手段、および該抗体を含む抗体・BLT1複合体を検出するための手段を含み、ここで該抗体・BLT1複合体の形成は、被験体のT_h17関連自己免疫疾患を示す、診断試験キット。

(項目18)

生物学的サンプル中のT_h17細胞を検出する方法であって、該方法は、該生物学的サンプルと、2つの異なるT_h17特異的表面分子に対して指向される少なくとも2つの異なるプローブとを、該T_h17特異的表面分子への該プローブの結合に適した条件下で接触させる工程であって、ここで各プローブは、該T_h17細胞上の別個の部位と反応性である、工程；および該プローブが、該生物学的サンプル中の該T_h17特異的表面分子に結合するか否かを、フローサイトメトリーによって検出する工程であって、ここで該プローブが該T_h17特異的表面分子に結合する場合、T_h17細胞の存在が示される、工程、を包含する、方法。

(項目19)

前記生物学的サンプルは、血液サンプル、血清サンプル、細胞サンプル、組織サンプル、骨髄および生検物からなる群より選択される、項目18に記載の方法。

(項目20)

前記プローブは、アレイ上に配置されている、項目18に記載の方法。

(項目21)

診断試験キットであって、該キットは、少なくとも第1のプローブおよび第2のプローブ；ならびにT_h17特異的表面分子を検出するための手段を含み、ここで該プローブは、該T_h17特異的表面分子に指向され、各プローブは、T_h17細胞上の別個の部位と反応性である、診断試験キット。

(項目22)

前記プローブのうちの少なくとも一方は、蛍光色素で標識されている、項目21に記載の診断試験キット。

(項目23)

前記T_h17特異的表面分子は、セファロース・ウェスタンブロッティングを介して検出される、項目21に記載の診断試験キット。

(項目24)

T_h17特異的表面マーカーが、ディップ・スティックアッセイを介して検出される、項目21に記載の診断試験キット。

(項目25)

T_h17細胞特異的表面マーカーを免疫学的に検出するための成分をさらに含む、項目21に記載の診断試験キット。

(項目26)

フローサイトメトリー検出のための診断試験キットであって、該キットは、少なくとも第1のプローブおよび第2のプローブ、ならびにT_h17特異的表面分子を検出するための手段を含み、ここで該プローブは、第1および第2の該T_h17特異的表面分子に対して指向され、ここで該T_h17特異的表面分子は、T_h17細胞上で特異的にアップレギュ

レートされている、診断試験キット。

(項目27)

前記プローブのうちの少なくとも一方は、ビーズで標識されている、項目26に記載の診断試験キット。

(項目28)

診断試験キットであって、該キットは、セファロース・ウェスタンブロッティング手順を行って、Th17特異的表面分子を免疫学的に検出するための手段を含み、該手段は、異なるTh17特異的表面分子に対して指向される少なくとも1つの異なるプローブを含み、該プローブは、Th17細胞上の別個の部位と反応性である、診断試験キット。

(項目29)

診断キットであって、該キットは、ディップ・ステイックアッセイを行って、Th17特異的表面分子を免疫学的に検出するための手段を含み、該手段は、異なるTh17特異的表面分子に対して指向される少なくとも2つの異なるプローブを含み、各プローブは、Th17細胞上の別個の部位と反応性である、診断キット。

(項目30)

生物学的サンプル中のTh17細胞の存在を検出するための方法であって、該方法は、ポドプラニンもしくはBLT1のいずれかをコードする核酸の存在を検出する工程を包含する、方法。

(項目31)

(a) ポドプラニンコード標的ポリヌクレオチドもしくはBLT1コード標的ポリヌクレオチドまたはこれらのフラグメントのいずれかを含むと推測される生物学的サンプルから、核酸を得る工程；(b) 該(a)の核酸と、該標的ポドプラニンコードポリヌクレオチドもしくはBLT1コードポリヌクレオチドにおける少なくとも1つの核酸配列を識別し得るオリゴヌクレオチドとを接触させる工程であって、該接触させる工程は、識別的なシグナルを発生させる、工程；(c) 該(b)において得られた識別的なシグナルから、ポドプラニンコードポリヌクレオチドもしくはBLT1コードポリヌクレオチドまたはそれらのフラグメントの存在を推測し、従って、該生物学的サンプル中のTh17細胞の存在を検出する工程、を包含する、項目30に記載の方法。

(項目32)

被験体における自己免疫疾患を診断する方法であって、該方法は、(a) 該被験体に由来するサンプル中においてポドプラニンを検出する工程；(b) 該被験体に由来するサンプル中においてBLT1を検出する工程；および(c) ポドプラニンおよびBLT1の存在もしくはレベルに基づいて、該被験体における自己免疫疾患の存在もしくは重篤度を診断する工程、を包含する、方法。

(項目33)

被験体における抗自己免疫疾患治療の効力をモニターする方法であって、該方法は、(a) 抗自己免疫疾患治療を施された被験体に由来するサンプル中において、ポドプラニンを検出する工程；(b) 該被験体に由来するサンプル中においてBLT1を検出する工程；および(c) ポドプラニンもしくはBLT1の存在もしくはレベルに基づいて、該被験体における自己免疫疾患の存在もしくは重篤度を検出し、それによって、抗自己免疫疾患治療の効力をモニターする工程、を包含する、方法。

(項目34)

被験体における自己免疫疾患もしくは慢性炎症性疾患を診断するかもしくはモニターする方法であって、該方法は、該被験体におけるTh17細胞の存在を検出して、該被験体における該自己免疫疾患もしくは慢性炎症性疾患を診断もしくはモニターする工程を包含し、ここで該Th17細胞は、ポドプラニンおよびBLT1を特異的にアップレギュレートする、方法。

(項目35)

ナイーブCD4+ T細胞の集団から、ヒトTh17細胞の分化を増大させるための、TGF-αおよびIL-21の使用。

(項目36)

ナイーブC D 4 + T 細胞の集団から、ヒトT h 1 7 細胞の分化を増大させるための、T G B - のアゴニストおよびI L - 2 1 のアゴニストの使用。

(項目37)

T h 1 7 細胞もしくはT h 1 7 細胞集団への、T 細胞もしくはT 細胞集団の分化を阻害するための、T G F - のアンタゴニストおよびI L - 2 1 のアンタゴニストの使用。

(項目38)

T 細胞もしくはT 細胞集団におけるI L - 1 7 の発現、活性、分泌もしくはプロセシングを増大させるための、T G F - およびI L - 2 1 もしくはこれらのアゴニストの使用。

(項目39)

T 細胞もしくはT 細胞集団におけるI L - 1 7 の発現、活性、分泌もしくはプロセシングを低下させるための、T G F - のアンタゴニストおよびI L - 2 1 のアンタゴニストの使用。

(項目40)

T h 1 7 細胞活性によって影響を与えるもしくは媒介される障害の処置のための医薬の調製における、T G F - のアンタゴニストおよびI L - 2 1 のアンタゴニストの使用。